

保護者の皆様

札幌市立幌南小学校

校長 大宮 健一

令和7年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果について

今春に実施されました標記調査の結果につきまして、校内での分析を終え、本校全体の児童の課題や改善の方向について下記のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えします。】

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・+3.1ポイント以上 | ⇒「上回っている」 |
| ・+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 | ⇒「ほぼ同程度であるが、やや上回る」 |
| ・全国平均と同じ | ⇒「ほぼ同程度」 |
| ・-3.0ポイントの範囲内で全国平均以下 | ⇒「ほぼ同程度であるが、やや下回る」 |
| ・-3.1ポイント以下 | ⇒「下回っている」 |

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

国
語

【領域】

- ☐言葉の特徴や使い方に関する事項
ほぼ同程度であるが、やや下回る
- ☐情報の扱い方に関する事項
ほぼ同程度であるが、やや下回る
- ☐我が国の言語文化に関する事項
ほぼ同程度であるが、やや上回る
- ☐話すこと・聞くこと
全国平均を上回っている
- ☐書くこと
ほぼ同程度であるが、やや上回る
- ☐読むこと
全国平均を上回っている

- 情報と情報との関連付けの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。
- 漢字を文の中で正しく使うこと。

- 文章を読む目的を明確にして必要な情報を捉えること、伝えたいことの根拠を明確にして書くことができるようにする。
- 学習した漢字を文や文章の中で使うことができるようにする。

算
数

【領域】

- ☐数と計算
全国平均を上回っている
- ☐図形
全国平均を上回っている
- ☐変化と関係
全国平均を上回っている
- ☐データの活用
全国平均を上回っている

- 目的に応じて適切なグラフを選択して、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
- 加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること。
- 異分母の分数の加法の計算をすること。

- データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察できるようにする。
- 数直線などを用いて分数の概念の理解を繰り返し行い、説明できるようにする。
- 小数や分数の学習で基にする数を揃えて考える学習を繰り返し行い、単位の幾つ分かを理解できるようにする。

理
科

【領域】

- ☐「エネルギー」を柱とする領域
全国平均を上回っている
- ☐「粒子」を柱とする領域
全国平均を上回っている
- ☐「生命」を柱とする領域
全国平均を上回っている
- ☐「地球」を柱とする領域
全国平均を上回っている

- 結果を基に結論を導き出した理由を表現すること。
- 差異点や共通点を基に新たな問題を見だし、表現すること。
- 根拠について、知識を概念的に理解すること。

- 実験結果を考察し、考察の根拠について記述したり、伝えたりできるようにする。
- 問題解決や科学的な探究のプロセスを通して、学習を通して身に付けた知識を活用することができるようにする。

《全国平均より肯定的な回答が上回っている項目》

- ☐人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ☐学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ☐自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ☐あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- ☐5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

⇒友達のよさを認めて尊重したりする意識が高い傾向が見られます。「学校に行くのは楽しい」と感じている児童の割合は全国平均に比べて顕著に高く、集団生活の場において友達関係や学級で話し合う機会を大切にしながらよりよくしていこうとする意識が伺えます。自分の考えをまとめ発表する学習を通して、自分の考えを伝える力を高めています。

今後も学校生活全体を通して、他者への思いやりの気持ちを更に育めるようにしていきます。

《全国平均より肯定的な回答が下回っている項目》

- ☐自分には、よいところがあると思いますか。
- ☐分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- ☐5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

⇒自分のよさを認めることへ課題が見られます。決めたことを守って行動する、自分で考えて決めて取り組むことに課題が見られます。学校生活においては、自分で目標を立てて取り組み、行動し、振り返るという過程を大切にすることで、目標をもつ大切さや困難なことに対しても挑戦していく態度を育成していきます。加えて、自己肯定感が高まるように互いのよさに目を向けて認め合える風土づくりを大切にしていきます。